

科目区分	専門教育科目	科目名	リハビリテーション		科目コード	40303	担当者	北田智則	
対象学生	介護福祉士コース1年生		学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	必修	
							免許・資格要件	介護福祉士必修	
科目の主題							成績評価の方法と割合		
リハビリテーションの理念と基本原則、展開過程について学び、日常生活の自立支援及び社会生活能力の維持・拡大の援助を理解する。							定期試験 (80%) 受講態度 (20%)		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力 (尽心)	高度な知性と創造力 (創造)	明確な意志と実践力 (実践)
1.	リハビリテーションの理念と基本原則を学ぶ						○		
2.	障害の程度とその影響を学ぶ						○		
3.	リハビリテーションの展開過程を学ぶ						○	○	
4.	日常生活の自立支援及び社会能力の維持・拡大への援助を学ぶ					○	○	○	
5.									
授業方法									
テキスト、パソコンを使用し講義形式にて授業を展開する。またグループワークや実技も実施する。									
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)									
事前にテキストを読み予習しておくこと。									
授業計画									
第1回	リハビリテーションの考え方・概念								
第2回	自立に向けた視点からリハビリテーションを考える								
第3回	尊厳を支える介護								
第4回	QOLの考え方								
第5回	ノーマライゼーションの実現								
第6回	リハビリテーションの実現 (事前評価、リハ計画の作成、実施、実施後の評価)								
第7回	病院、施設におけるリハビリテーションを考える								
第8回	在宅におけるリハビリテーションを考える								
第9回	日常生活の自立支援及び社会生活能力の維持拡大への援助								
第10回	ICFの考え方、ICFの視点に基づく自立支援								
第11回	ICFの視点に基づくアセスメントの実際								
第12回	介護予防								
第13回	介護予防事例								
第14回	リハビリテーション分野の専門職との連携								
第15回	リハビリテーションの観点に基づく介護のあり方を考える								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
介護の基本 I (新・介護福祉養成講座第3巻) 中央法規出版					日常生活におけるリハビリテーションの実践そのものが利用者の潜在能力を高めていくことをよく理解して下さい。				